記載例）事例報告

|  |
| --- |
| **患者プロフィール⇒**患者紹介　　例；○〇歳代男性　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　手術の経緯、治療を展開する中で重要と思われる患者情報 |
| **現疾患・治療の概要**　例；病名、術式、入院期間など |
| **治療を受けるにあたっての患者の問題**例；＃症状出現から手術までが短期間であり、受け入れ段階にある　　　　＃初めての手術に対する不安　　　　＃術後疼痛に対する不安　　　　＃術後疼痛により期待する社会復帰に支障がでる可能性　　　　＃術後疼痛によりADL低下をきたす可能性　　　　＃下肢静脈瘤の再発の可能性　　　　＃ボディーイメージの変容に伴う精神的苦痛がある |
| **コーディネートの実際（問題に対して展開したコーディネートを評価を含め具体的に記載する。）**　　ポイント；評価のポイント③④を参考に、コーディネートの実際を記載する |

活動報告

|  |
| --- |
| **テーマ**リスクマネジメント、教育指導、チームの実践能力向上にむけた取り組みなど、コーディネーターの視点で行なったこと例； 全身麻酔患者の退院評価の見直し例；医療接遇に関する職員教育 |
| **テーマに取り組んだ目的⇒　テーマに取り組んだ理由**　例； A病院では全身麻酔の日帰り手術件数が増加している。また手術終了から帰宅許可までの時間が短縮する傾向にある。しかし、退院許可の基準が医療スタッフ個々の判断に委ねられていたため、安全を確保するため、帰宅基準の見直しを行い、標準化を図る必要性があった。　　例；日頃の職員の患者対応に問題を感じていたため、Aクリニックの職員全員のホスピタリティーマインドを高めるために取り組んだ。 |
| **実践活動**これまでの状況と課題、取り組みの計画と実際、メンバー構成や活動での工夫など例；これまでの状況、課題、計画やメンバー構成、活動での工夫など件数が少なかったこともあり、クリニカルパスに覚醒後帰宅という表記のみで、具体的な判断は明文化していなかった。 |
| **実践活動の評価**活動により得られた事、変化した事、発見したこと等記載し、評価する |

事例報告

|  |
| --- |
| **患者プロフィール⇒** |
| **現疾患・治療の概要** |
| **治療を受けるにあたっての患者の問題** |
| **コーディネートの実際（問題に対して展開したコーディネートを評価を含め具体的に記載する。）** |

活動報告

|  |
| --- |
| **テーマ** |
| **テーマに取り組んだ目的** |
| **実践活動** |
| **実践活動の評価** |